

みんなとやりたいこと  
やってみよう♪



ことば蔵

# こども作戦会議

「こどもが失敗できる場所をつくりたい」という大人達の画策で生まれたのが“こども作戦会議”です。発表や宿題など大変なことも盛りだくさんですが、正解がないからこそ、みんなで楽しくやりたいことに挑戦していきます。

## 活動の流れ (イメージ)

やりたいことを  
イメージ・具体化

PJ計画策定  
実験・交渉・準備

企画立案  
プレゼン

作戦決行！  
(イベント本番)

2023度はみんなで1つの企画を実行しました

## これまでの作戦 (開催実績)

### 2017年度

- ・ サッカー選手とバトルしよう
- ・ お姫さまできれいになろう
- ・ 風で叶える物語～風船を飛ばそう～

### 2018年度

- ・ リアルプラトーンをしたい
- ・ みんなで「とうそうちゅう」したい
- ・ ゆるキャラそうせんきよしたい
- ・ 風せんがどこまでとぶかしらべよう

### 2019年度

- ・ 市長からのちょうせんじょう -なぞとき

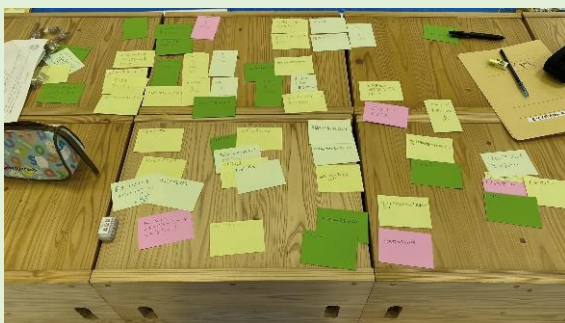
いいね！とフォローで  
こども達を応援してください！



# ことば蔵こども作戦会議2023活動の様子

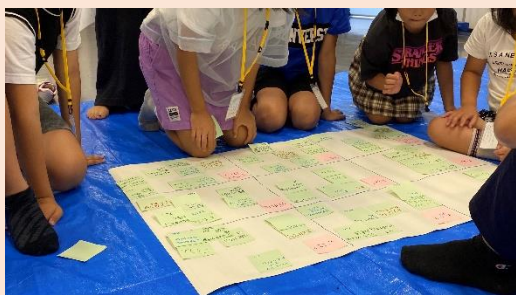
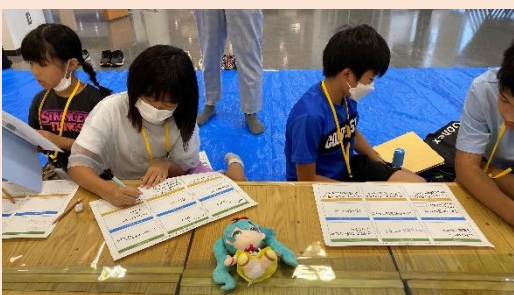
## 作戦会議 第1回 (2023年6月18日)

何が起るかドキドキ・ワクワクの中での第1回の会議。とにかくやってみた  
いことを付箋に書き出して、メンバー全員で共有。いろんなアイデアに触  
れて、新たな興味関心をかき立てられました。



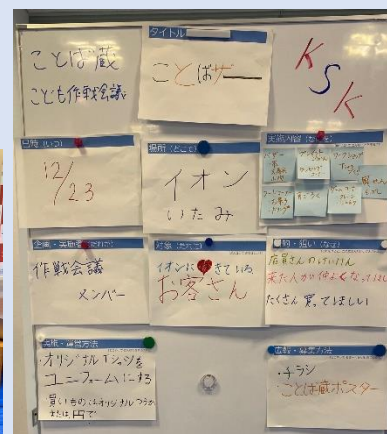
## 作戦会議 第2回 (2023年7月16日)

ぼんやりとしたアイデアが、5W1H(いつ、どこで、誰が、何を、何/誰のため  
に)といった基本的な項目を考えることを通して、より  
具体的なアイデアに発展していきます。



## 作戦会議 第3回 (2023年8月20日)

『ことばザー』誕生の瞬間！メンバー全員で協力して考え抜いた基本計画  
をことば蔵の担当者(やまびー)にプレゼン。質疑応答にもしっかりと対応。  
無事に承認され、いよいよ次回からは実行に移ります。



## 作戦会議 第4回 (2023年9月17日)

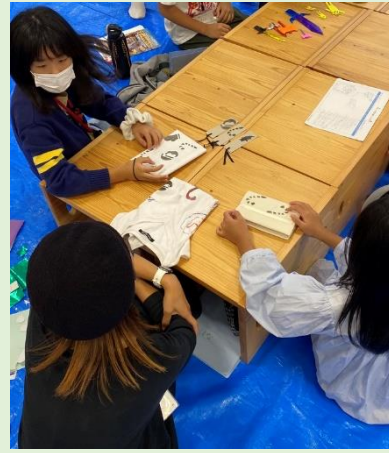
それぞれのメンバーが担当するコーナー(ワークショップ、バザー、プレゼ  
ント交換、ゲーム)について、家にあるもので実際にできそうかを実験  
し、より具体的な計画へ落とし込みました。



# ことば蔵こども作戦会議2023活動の様子

## 作戦会議 第5回 (2023年10月15日)

会場をことば蔵に決定しフロアプランを立てたり、各コーナーで出品する実物のサンプル作成もスタート。日に日に現実味が帯びてきて、メンバーの「やる気」が上がってきました。



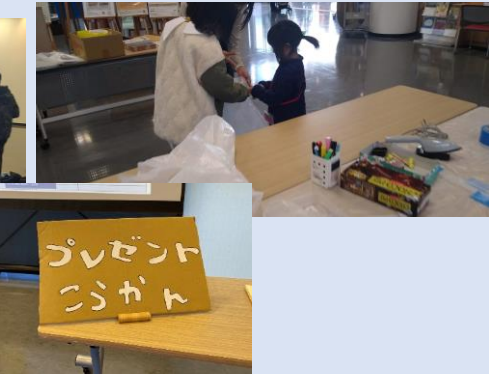
## 作戦会議 第6回 (2023年11月26日)

「ことば蔵」用の手作りスタッフTシャツ作成や、チラシの作成、そしてエフエムいたみ「輝け！いたみっ子」収録(12月14日放送)。一人一人が担当コーナーの説明と決意表明をしました。



## 作戦会議 第7回 (2023年12月17日)

いよいよ本番直前の最後の会議。当日の設営や接客のシミュレーションの他、各コーナーに必要な準備物の最終チェックを行いました。



ほぼ手書きのチラシ



オリジナル通貨「くら」は端切れでデザイン

### こどもの心得帖

- 主役は自分  
自分で考え自分から挑戦してみよう(失敗してもOK!)
- 楽をするより楽しもう  
誰かにやってもらおうより自分でやってみよう
- 友達や大人を巻き込もう  
仲間を増やして「楽しい」を増やそう
- 思いやりを大切にしよう  
相手の気持ちを考えて「おもてなし」しよう

### 大人の心得帖

こども作戦会議では、

- 一、こどもが主役、大人はサポーター
- 一、挑戦すれば失敗しても成功
- 一、正解や常識を求めない
- 一、こどもと楽しみ、こどもと学ぶ

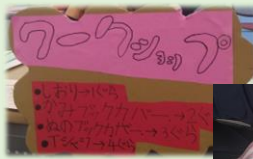
# ことばザー本番の様子

## ワークショップコーナー

オリジナルのステンシルを使って自分だけのかわいいしおりやブックカバー・Tシャツづくりを体験してもらいました。余っている端切れを集めて手作りした布製ブックカバーは30枚以上が完売御礼。小2のメンバーは妹と一緒にお客さんの呼び込みを積極的に頑張っていました。最初は難しかった受付の説明も、次第にしっかり説明することができました。



元気な呼び込みに自然とお客さんが



## ゲームコーナー (射的)

吸盤中と割りばし鉄砲から選べ、的のサイズや置き場所によってポイントを変えるなど工夫が盛りだくさん。折り紙で作った300個以上の景品もクオリティが高く、何回も体験するお客さんもいました。100超えのダンボールを集めた屋台は前日から2時間かけて建築。小6メンバー2人が家族と連携してお客さんに楽しんでもらえる空間を創り出しました。



リハで鉄砲が2丁で足りないことが判明し急遽制作する一幕も

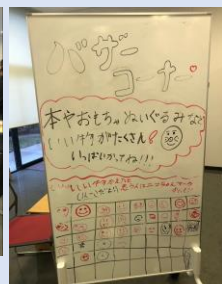


## キッズバザー

メンバーの家にある使っていないものを集めたお店には、アニメキャラのグッズなど色々な商品がズラリ。買ったお客さんからは来てよかったという声が聞こえてきました。ホワイトボードで大きい看板をつくり、その下にお客さんの評価を書いてもらう手法はまさにマーケティングそのもの。小5のメンバーがやりたかった、リアルなバザーができました。



掘り出し物がたくさんでわくわく



## プレゼント交換

バザーでゲットした品物で参加できるプレゼント交換は参加者が集まらず苦戦。でも15人でやりたいという小2メンバーの粘り強さとたみまる効果で満員御礼に。プレゼント交換のやり方は当初の予定と違ったものになりましたが、ミニゲームは「たけのこニョッキ」で大盛り上がり。みんながここにしかないお宝を手に入れることができました。



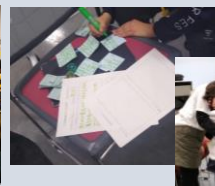
参加者を集めに奔走



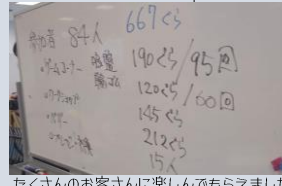
## 閉会式

活動を振り返り、頑張ったことや大変だったこと、次にやりたいことを書いて共有。付箋にお互いへのコメントを書いて渡し、表彰と記念撮影もしました。

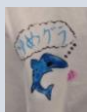
総合受付では赤ちゃんも大人も楽しめるよう全員に10ぐらお渡



ひとりひとり内容の違う感謝状と記念撮影



たくさんのお客さんに楽しんでもらえました



「やりたいことをやってみよう」と始めたものの、最初のやりたかったことをそのまま実現できたメンバーは実は一人もいません。色々な制約がある中で、それぞれが工夫してアイデアを進化させ、半年かけて企画や準備に取り組むことで、「来た人に楽しんで仲良くなってほしい・店員の経験をしたい」という想いを自分達で実現することができました。その場にいる全員が笑顔になれる素敵な企画を創ってくれたメンバー、ご協力・参加いただいた皆様、ありがとうございました。(こども作戦会議実行委員・サポーター一同)